

福岡商工会議所 中期方針(令和6~8年度)と 令和6年度事業計画を策定

当所では、社会・経済情勢を踏まえ、今後3年間の活動の基本的スタンスや注力すべき点を示すものとして、3年を期間とする中期方針を策定しています。3月26日、第241回議員総会において、福岡商工会議所の中期方針(令和6~8年度)と令和6年度の事業計画が承認されました。

会員企業の皆さまと地域経済の発展のため、役職員一丸となって取り組んでまいります。

中期方針(令和6~8年度)の概要

中小企業の業況は、改善・悪化を繰り返しながら緩やかな回復傾向にあるものの、力強さを欠いています。経済の本格回復に伴い需要が高まる一方で、足元では、深刻な人手不足、コスト増、消費低迷などで伸び悩み、景況感の回復を押し下げる要因になっています。日本経済が30年続くデフレから脱却し、「成長と分配の好循環」を実現するためには、地域経済の担い手である中小企業が、自己変革による生産性向上と取

引価格の適正化によって、持続的な賃上げの原資を確保できるかどうかにかかっています。

このような認識のもと、当所は会員企業と福岡の経済の発展のため、3つの活動方針と基本戦略を掲げ、必要な取組みを進めてまいります。また、様々な取組みを進める中で、会員企業の皆様にとって、「行動する」「役に立つ」「信頼される」商工会議所となるよう、目指してまいります。

■中期方針(令和6~8年度)の全体像

<目指す姿>

行動する商工会議所 / 役に立つ商工会議所 / 信頼される商工会議所



<活動方針>

～取引適正化の推進 / 新たなステージに挑戦する中小企業を後押しする / 福博のまちの魅力を高める～

- ・中小企業が適正な利益を確保し、経済の好循環を生み出すため、取引価格の適正化を推進。
- ・会員ニーズや経済・社会環境の変化を踏まえ、中小企業の自己変革・成長を後押しする支援に注力。
- ・新旧のハード・ソフトが調和し奥行き深い魅力あるまちを目指し、歴史・文化を活かしたまちづくりを推進。

<基本戦略と重点施策・基盤となる活動> ※赤字は 選択と集中による重点施策

基本戦略Ⅰ 中小企業の自己変革を後押しし、稼ぐ力を高める

<基盤となる活動:経営環境の変化や企業のライフサイクルに応じた総合的な課題解決支援>

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 取引適正化の推進 | 4. 販路拡大支援 |
| 2. デジタル化・DXの推進 | 5. 人材確保・育成支援 |
| 3. 交流会活性化 | 6. 経営課題解決・再チャレンジ支援 |

基本戦略Ⅱ 歴史・文化を活かしたまちづくりを行い、福博の魅力を発信する

1. 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進
(「15の提言」の実現)
2. 福博の賑わい創出・魅力発信
3. 伝統芸能支援

基本戦略Ⅲ 商工会議所の組織基盤を強化する

<基盤となる活動:議員総会・常議員会、部会活動 など>

- | | | |
|-----------------------|-------------------|-------------------------|
| 1. 会員基盤の強化(利用促進、会員増強) | 3. デジタル化の推進 | 5. 支援力の向上 |
| 2. 会員企業の声に基づく政策提言 | 4. 広報チームによる情報発信強化 | 6. 会議所ビル建替に関する具体的な構想の検討 |

中期方針の6つの重点施策

今期中期方針では、会員企業の「経営課題」「利用率」「入会動機」等の観点を踏まえて特に集中的に取り組むべき「重点施策」を設定しています。

1. 取引適正化の推進

中小企業の多くは、エネルギー・原材料価格や労務費の上昇に直面し、価格転嫁が十分に進んでいない状況です。中小企業がこうした苦境から脱し、「良いものを安く」から「良いものをそれにふさわしい適正価格で」という考え方のもと、適正価格での取引が地域経済に行き渡るよう、取組みを強化します。

(主な取組み)

- (1)「パートナーシップ構築宣言」の登録推進
- (2)取引適正化に向けた関連施策の周知や、価格交渉お役立ちツールの活用促進
- (3)会員企業の声や業界の課題等を踏まえた要望・提言活動



2. デジタル化・DXの推進

中小企業の稼ぐ力を高めるためには、付加価値の増大・生産性の向上を図る「自己変革」が不可欠です。特に、デジタル化・DXを推進することが重要な前提条件であり、事業者のデジタルツール実装を引き続き強力に伴走支援します。

(主な取組み)

- (1)デジタル化相談窓口「よかデジ」を通じた業務効率化、生産性向上支援
- (2)民間企業や公的機関との連携によるデジタル人材育成支援
- (3)ITベンダーと食・観光・クリエイター等会員企業とのマッチング促進

よかデジの支援でDXに成功した事例を紹介▶



3. 交流会活性化

交流会は人脈形成・新たな出会いの場として、多くの会員に利用されている事業です。会員企業のニーズや利用数の観点から、あらゆる事業を通じて交流の場を設け、会員同士の交流促進を強化します。

(主な取組み)

- (1)小～中規模(30～40名)の参加者同士の顔が見える交流会の拡充
- (2)複数部会による合同事業(交流会含む)の実施

少人数制のテーマ別交流会▶



4. 販路拡大支援

商談会・販路拡大事業は、会員からのニーズが高い事業です。当所が強みとする食や観光の商談会にデジタルやクリエイティブなどの要素を加えることで生産性の向上・付加価値の増大を促し、会員企業の稼ぐ力を高めます。

(主な取組み)

- (1)食・観光を中心とした商談会
- (2)ITベンダーやクリエイターと会員企業とのマッチング促進
- (3)総合展示・商談会の実施

食の展示商談会「Food EXPO Kyushu」▶



5. 人材確保・育成支援

中小企業の人手不足は、かつてないほどに深刻化しています。労働供給量が減少傾向にある中、人手不足解消に採用活動だけで対応するのは困難であり、事業継続には徹底した省力化が不可欠です。あわせて、限らせた人材の中で個々の能力を高めて生産性向上を図り、自己変革を果たしていく必要があります。採用機会の提供と人材育成の2つの観点から、中小企業を支援します。

(主な取組み)

- (1)公的機関等との連携によるキャリア人材等の採用支援
- (2)人手不足を乗り越え、企業価値を高める人材の育成支援
- (3)デジタル化・DXの推進

学校と企業との就職情報交換会▶



6. 経営課題解決・再チャレンジ支援

中小企業の多くは、コロナ禍で借り入れたゼロゼロ融資の返済本格化や人手不足、コスト増による収益悪化などに直面し、極めて苦しい経営環境に晒されています。中小企業の活力を維持するためにも、職員による巡回訪問や経営相談窓口を通じて早期の相談を促し、経営改善、事業承継、再チャレンジなど専門家と連携した経営支援に注力します。

(主な取組み)

- (1)事業者の経営課題に応じた機動的な支援
- (2)中小企業活性化協議会や福岡県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した経営支援

令和6年度事業計画の概要

基本戦略Ⅰ 中小企業の自己変革を後押しし、稼ぐ力を高める

1. 取引適正化の推進

- ・会員企業への「パートナーシップ構築宣言」登録推進
- ・取引環境の改善や価格転嫁等の取引適正化に資する施策の要望

2. デジタル化・DXの推進

- ・デジタル化相談窓口「よかデジ」を通じたデジタルツール実装支援
- ・経営課題・業種別のデジタルツール展示・相談会開催
- ・よかデジ参画企業等と連携したデジタル人材育成支援

3. 交流会活性化

- ・新入会員交流会(2回)、テーマ別交流会(2回)、異業種交流会(3回)、部会横断交流会の開催
- ・各種展示会・商談会に付随する参加者交流会の開催

4. 販路拡大支援

- ・Food EXPO Kyushu2024(10/8-9)、観光商談会(1月)など食・観光の商談会開催
- ・各種商談会の参加者と、クリエイター・ITベンダー等とのマッチング促進

5. 人材確保・育成支援

- ・公的機関等と連携したキャリア人材等採用支援
- ・教育機関・公的機関や、企業との連携による人材確保・採用・定着支援
- ・経営者・経営幹部向け講座の新設【新規】

6. 経営課題解決・再チャレンジ支援

- ・経営に打撃を受けた企業の収益力改善に向けたきめ細かな支援
- ・円滑な事業承継に向けた事業承継・引継ぎ支援センターとの連携による個社支援
- ・商店街向けプレミアム付地域商品券発行支援



▲デジタル化・DX推進セミナー



▲新入会員交流会



▲観光商談会



▲経営幹部向け新講座
「FCCI High-class Workshop」

基本戦略Ⅱ 歴史・文化を活かしたまちづくりを行い、福博の魅力を発信する

1. 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進(「15の提言」の実現)

歴史・文化を活かしたまちづくり懇談会による『「福岡・博多の歴史・文化を活かしたまちづくり」に関する15の提言』(令和5年9月7日公表)の実現に向け、関係各所との連携を推進します。

- (1) 史跡等の点検、歴史・文化に関するデータベース整備、郷土の歴史・文化に関する学校教育の充実、ご当地ナンバー「博多」導入促進
- (2) 福岡城天守の復元的整備を考える懇談会による議論、鴻臚館跡及び冷泉小学校跡地の整備・活用に向けた協議
- (3) 観光ボランティアガイド1,000人計画策定及び福岡検定合格者増に向けた関係機関との連携推進
- (4) 観光委員会による官民一体となったまちづくりに向けた調査研究(寺院との連携、浜辺を活かした休養地づくり、持続可能な観光推進)

2. 福博の賑わい創出・魅力発信

- ・第63回博多どんたく港まつり開催(5/3-4)
- ・「魅力あるまちづくりアワード2024」開催(12月)



▲「福岡城天守の復元的整備を考える懇談会」による検討



▲冷泉小学校跡地の石積み以降の展示イメージ図



▲魅力あるまちづくりアワード

3. 伝統芸能支援

- ・「博多伝統芸能館」における伝統芸能公演実施
- ・博多券番芸妓による特別公演会実施
- ・博多伝統芸能振興会を通じた伝統芸能の担い手育成等支援

博多伝統芸能館での公演▶



基本戦略III 商工会議所の組織基盤を強化する

会員ニーズや環境変化を捉えて商工会議所運営に活かし、サービスの質を高めることにより、地域の役に立ち信頼される商工会議所を目指します。

1. 会員基盤の強化(事業の利用促進、会員増強)
2. 会員企業の声に基づく政策提言
3. デジタル化の推進
4. 広報チームによる情報発信強化
5. 支援力の向上【拡充】
6. 会議所ビル建替に関する具体的な構想の検討

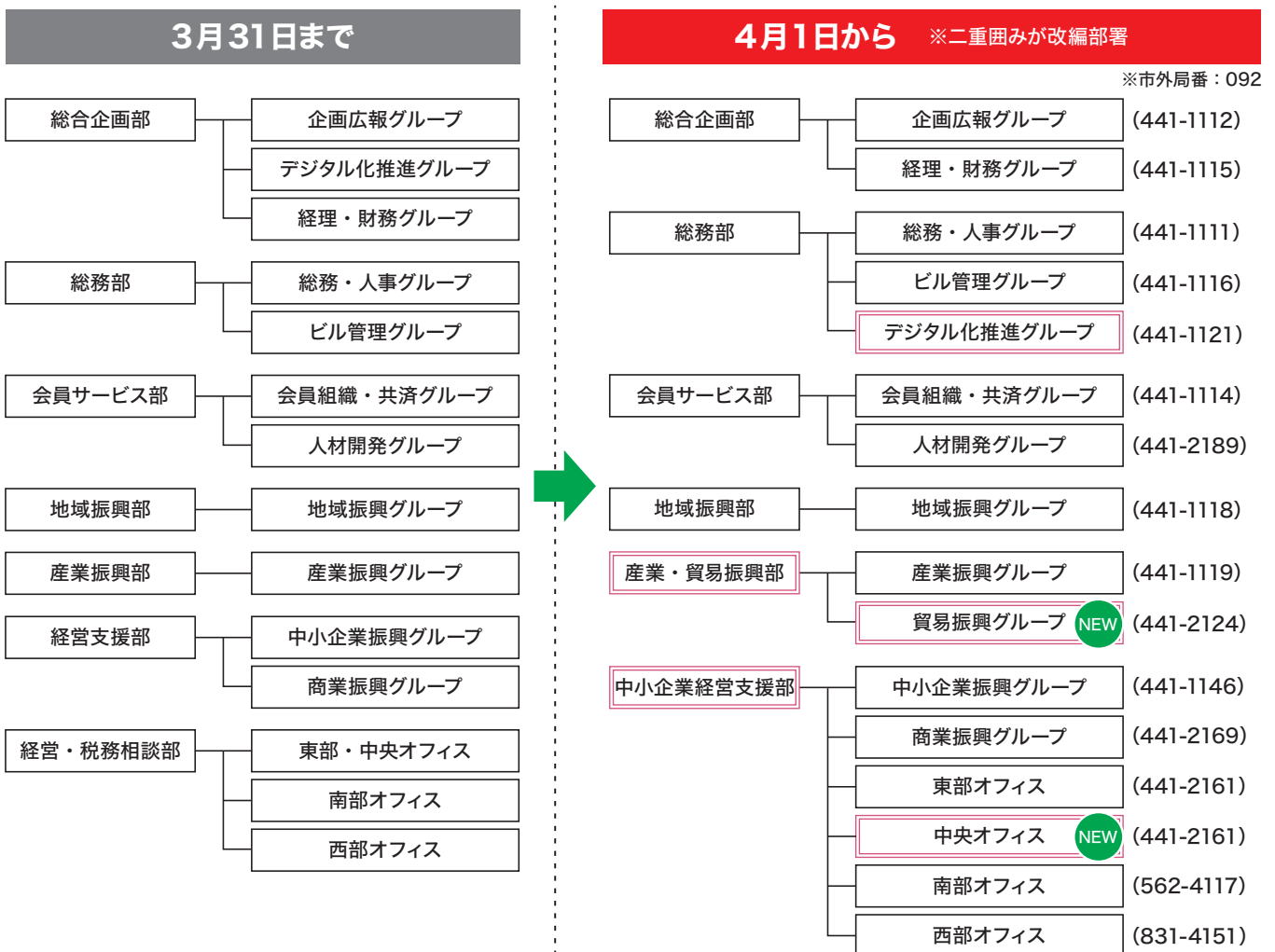
└ 南部オフィスの移転(9月)
国際委員会の新設 等

中期方針や事業計画は、
当所のホームページでも公開しています。



新年度の事務局機構のご案内

会員企業への支援力向上のため、事務局体制を一部変更します。



中期方針・事業計画に関するお問い合わせ／企画広報グループ TEL：092-441-1112
事務局体制に関するお問い合わせ／総務・人事グループ TEL：092-441-1110